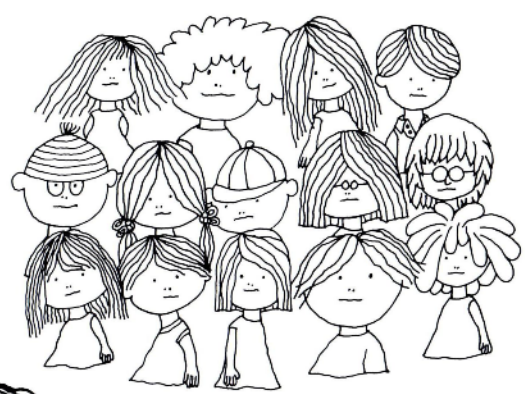


笑顔いっぱい屋代小をめざして！なかよし月間

11月1日から、なかよし月間が始まりました。1日の校長講話では、学校長より、「なかよし月間では、みんなで、『なかよし』ということについて一生懸命考えよう。」と呼びかけがあり「わたしのせいじゃない」というお話をされました。

◇もしかしたら私もそうかも・・・
 と思ってしまいました。「みんなやっているから」「ちょっとしかやっていない」は理由になりません。「言っている自分がいけないんだ！」とも私は言う立場でもありません。でも勇気を出して言ってみたら、何か変わるかも「しれないと思います。◇「何かが起きた。でもわたしのせいじゃない。」そんなクラスはサイテーです。そうならないために、どうしてそうなったかを理解しないといけないと思いました。(5年)



学校のやすみじかに
 あったことだけど
 わたしのせいじゃないわ



7日(水)には、ふれあい委員会によるふれあい集会が行われました。4～6年生のクラスの代表者が人権についての標語と、そこにこめられている思いを発表しました。「なやみごと クラスみんなで助けあう 佐藤愛花」「命はね たった一つ たから物 林日夏里」「あそぼうよ みんなさそえば なかまの輪 早川優奈」「交流は 人の心をつなぐひも 小林寛太」「いけないよ 命をけずる その言葉 唐澤有輝」「仲間の輪 きらずにずっと つなごうよ 山本幸穂」「やめようよ その一言で 救われる 見ているだけでは 救われない 塚原美和」

授業参観・PTA 講演会 CAP ながの！ 11/15 (木)



『子どもの人権を一緒に考えましょう』をテーマに、お話とワークショップをしていただきました。権利とは「生きていくためになくてはならないもの。」それが奪われそうだったら、「いやだ」と言っている・逃げていい・相談する。

人権意識とは「わたしはかけがえのない大切な人間だ」と思う心。それを育てるためには、心を満たしてあげること。そして、子どもの言葉をしっかり受け止め、一生懸命に聴くこと。CAP プログラムの柱の一つである権利について以上のような話をされました。途中でロールプレイ（寸劇）を入れて、子どもたちの気持ちや困ったときにどうしたらよいかを具体的に考えることができ、保護者・教職員にとって、有意義な時間になりました。

マラソン大会に向けて頑張っています！



1 学期から続けてきた「屋代小元気っ子マラソン」。20 日は 1・4 年、21 日は 2・5 年、22 日は 3・6 年でマラソン大会が実施されます。朝早くから、白い息をはきながらマラソンに取り組む子どもたちも増えてきました。当日ご都合をつけて、子どもたちに、声援を送ってあげてください。

信頼される屋代小をめざして！ 非違行為防止に向けて！

体罰、セクハラ、飲酒、速度違反等教職員の度重なる非違行為により、児童、保護者の皆様に不安な気持ちや不信感を募らせる結果となっており、残念な思いでいっぱいです。本校では、これまで、以下のように非違行為防止に向けた取組みを進めています。

- 体罰根絶のためのセルフチェックシートを活用し、自分自身の人権感覚や指導・校内体制の在り方について振り返りました。「指導する際、怒鳴ったり、威圧的な態度をとったりする」「自分本意な指導に陥りがちである」という反省点が出てきました。
- 毎回、職員会で資料をもとに子どもの見方・非違行為の事例について学習しています。
- 校内研修を実施し、3つのグループに分かれて話し合いを持ちました。次のような標語もつくり、注意喚起をしています。「スピードを出さない勇気を出そう」。「普段から気軽に相談隣にね」。また、個別の相談の際には「教室のドアを開ける・第三者を入れる」などが確認されました。

今後も非違行為防止に向け、全職員で取り組んでいきますが、何かお気づきの点がありましたら、学校（担任、教頭）までご連絡ください。